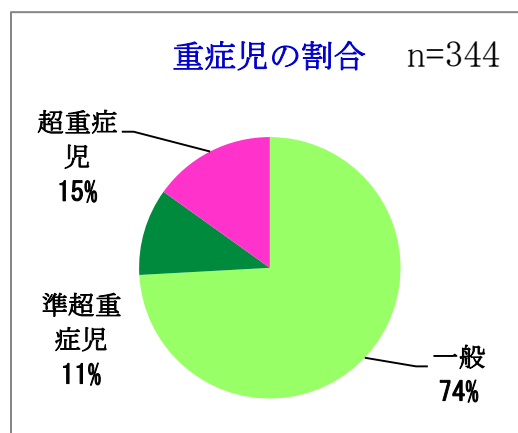
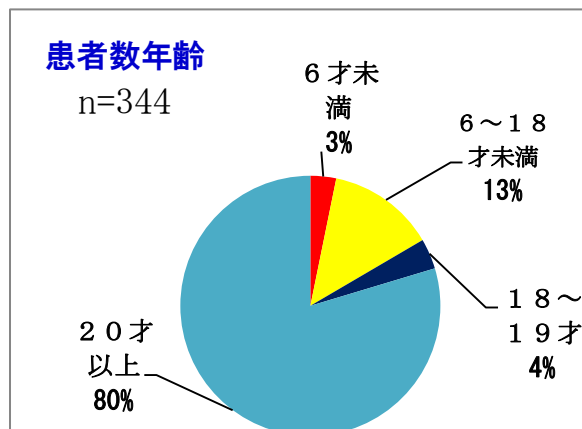


栃木県の重症心身障害施設4施設の現状

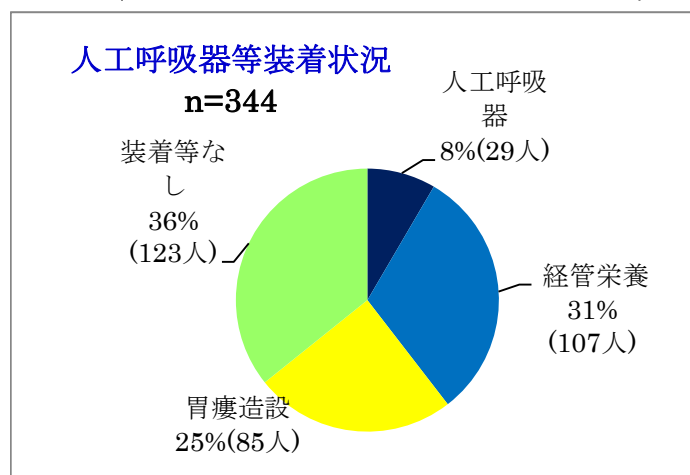
25.1.1 現在	あしかがの森 足利病院	社会福祉法人 星風園	社会福祉法人 なす療育園	国立病院機構 宇都宮病院	計
定員	160人	60人	50人	80人	350人
患者数	158人	60人	46人	80人	344人



栃木県内の重症心身障害患者を受入れる施設は上記の4施設であり、超重症児者及び準超重症児者の割合は、ほぼ4分1に達する。

また、人工呼吸器装着者、経管栄養及び胃瘻造設者を合わせると3分2弱となる。

そして、NICUから直接又は小児病棟を介して重症心身障害施設に移動した患者は14人となっている。



重症心身障害連絡協議会にて、総合周産期母子医療センターを含む県内11病院（8病院回答）に対し「NICU等の入院患者に関する調査」を実施したところ、NICU設置6病院のうち3病院が稼働率100%を超えていることや、総合周産期母子医療センターの2病院からは、人工呼吸器管理の患者を含めスムーズな受入体制の構築について要望がなされている。

一方で、重症心身障害施設では常勤医師が1～3人の施設が3施設あり、医師確保について厳しい状況が続いている。重症心身障害医療をとりまく環境は、自立支援法など関連する法律の改正が相次ぎ、担当する行政機関が変更になるなど不安定な要素もある。

様々な厳しい環境があるが、在宅での患者の支援など、今後益々重症心身障害医療への期待が高まる中、関係機関が協力して医療・看護・介護の質を高めていく必要がある。